

竜 丘 村

1950.4

No. 13号

発行人 北澤小太郎
 編集人 龍共印刷
 印刷所 株式会社
 発行所 竜丘村公民館

御あいさつ

館長 北澤小太郎
 公民館は建物か云ふ一般の質問も大分少なくなつたが、未だ、實際の仕事も運営も板について居ない。
 公民館も出稼以来丁度三ヶ年の立場で兼任館長として二年間、多難で、悪く言われたり、良く云われたりして勤められて、其の後に私が就任した。
 社会教育法の改正で村立と言ふ、何かしらいかめしい形に響くが内容も、運営も、一般村民や団体の意見が中心にならねば館の発展は期せられない。私は自分が不肖であり、そして資格も何もなく且つ不完全な人間で文字通り不束である事を知つて居る。
 それが村長さんから任命されていよく、擔任の仕事をやりに初めたので村民各位の方々の御協力を心から御願ひして住み良い竜丘村へ進む爲懸命に努力したい。
 女房役の副館長が悟り深、

開善寺の橋本玄進先生であり身の過ぎた女房役なので今更いろいろ相談してやつて行きたい。
 館としていろいろ大事なこと、やりたい事も多いがお金も限度があり想ふ通り出来ない事は重点的にやるより他仕方がない。
 その重点を次の様に考へて居る。
 (一)青年學園の充實と發展
 本村中學卒業生で家に居たり工場に勤めたりして居る入達の青年に村に即した高等教育をやる
 (二)圖書館の獨立と充實
 學校の都合で現在使用の場所を工作室にするので至急に圖書館を獨立し併せて内容の充實を計りたい
 (三)明るい村報の發行
 村政や、村の出来事の新報はさんなに忙しくて毎月出したい。村自治が村民の一人一人に徹底し村民の輿論が表現されて村の政治が明るく進む様にしたい
 (四)各団体の事業連絡と協力
 婦人會、青年團、壯年團、PTA、農民組合、農業協

六間年を顧みて

木下 右治

私が伍和學校から本村へ轉任して来たのは昭和十九年の四月でありました。
 戦たけなはの頃で毎日B二十九の銀翼が上空を飛びました。校庭に十七の防空壕を造つて、こどもの生命を守りました。記念館と南館を軍事工場に貸出して旋盤機が据えつけられ、將に機械が運轉を

意見と共に私はその討論の結論を尊重したい
 まだ云い度い事はたくさんある気がするが、余り御題目を並べておくに實践が伴はないと言はれて申譯ないからこの邊で止めておく。
 公民館は一人でする仕事ではない。全村民の理解と啓蒙が第一歩だ。農村がますます深刻な金詰りに直面した。この時の館の活動は矢張り本村の産業經濟をさうして發展させ、そして明るい村自治を築くか云ふ村民の願ひをいくらでも達したいと思ふ。

昭和二十五年 本村予算決算

中央に於ける地方税改正審議中の爲、本村議會は四月十七、十八、十九日三日間に亘つて二十五年度當期予算を審議決定した。歳入は暫定見積の爲内譯省略、歳出は款項のみを掲げた。
 一般の金詰り、農村恐慌に對處して、村會議員も村民負擔の軽減の立場から熱心に内容が検討された。
 編成方針としては六月頃國の地方税法に對する方針取扱の決定次第更めて本予算を再編成する予定である。

歳入合計	五、四九、五五、〇〇
歳出合計	五、四九、五五、〇〇
1、議會費	一〇、七〇〇、〇〇
2、役場費	一、九三、四〇〇、〇〇
3、警務費	五、〇〇〇、〇〇
4、消防費	一、五〇〇、〇〇
5、土木費	五、〇〇〇、〇〇
6、教育費	一、六五、七〇〇、〇〇
7、小學校費	一、〇〇〇、〇〇
8、中等學校費	五〇〇、〇〇〇、〇〇
9、高等學校費	一〇〇、〇〇〇、〇〇
10、公民館費	三〇〇、〇〇〇、〇〇

公民館人事

村立公民館長として三月三十一日第二回運営審議委員會の議を経て村長は左の人事を決定した。
 館長 北澤小太郎(村會總務部委員長)
 副館長 橋本玄進(民生委員會委員長)

竜丘村消防團 條例制定

四月二十八日村會に於て本村消防條例が議案第九号を以つて可決決定された。
 規定は通則、任命、定員、退職、徴収、服務規律、給與、消防、委員會等の項目に分れて居る。(全文省略)

國民健康保險組合 書記一名増員決る
 昭和二十五年年度予算は四月十八、十九日村會で審議決定を見た。
 總額三百五十万圓 本年度より書記一名増員に決定した

鳩打峠白並北ノ澤共有入會 分割處理委員會委員名
 委員長 村長 前島頼輔
 副委員長 助役 關島芳隆
 常任委員 村會 北澤小太郎
 高島兼藏
 區長 關島林郎 小林武男
 沖田米吉 桐生喜一
 清水唯一 下平蘭美
 中島忠男
 農組 中島忠男
 農林組合 塚平善市
 委員 伊原悦男 伊原春男
 井口あゐ 中平 要
 鹽澤實雄 前島秀夫
 林省三 河井精一

竜丘青年學園授業擔任表

分類	科目	内 容	擔任講師
分 類	社會科	政治、經濟、産業	宮川美佐夫
	國語科	講讀、文學、作文	岡村美文
	理科	計簿、家庭の理	岡村美文
教 養 科 目	音樂科	合唱、鑑賞、演奏	渡邊傳藏
	體育科	合唱、鑑賞、演奏	古川隼人
	家政科	禮法、家事、育児	中田今朝子
專 問 科 目	被服科	洋裁、和裁、手藝	石原益恵
	職業科	農業、畜産、養蚕	中田今朝子
	農業協同	副館長	川井 玄
科 外	地方自治	自治法、税問題	伊藤一石
	農林工業	發展史、經營概論	橋本玄進
	倫理	憲法、民法、刑事訴訟法、其他	關島芳隆
法 律			北澤小太郎
			竹上中學校長
			交渉中

小室二 小室一
 增田好雄 杉本馨
 中島正三 岡島耕平
 下田義實 松村新八
 下平安徳 岡村重治
 森林組合理事 塚平幸一
 伊藤祐一 原喜一
 小林録吉 林信雄
 青年團長 木下彦夫
 壯年團長 原丙三

小學校 人事異動
 轉出
 推名鮮吉 (松尾小學校)
 長尾幸子 (東京都)
 退職
 下井田チカエ (自宅)

中學校 人事異動
 轉出
 木下右治 (上郷小學校)
 小林 巖 (風越高學校)
 今村幸郎 (河野中學校)
 中田千鶴 (生活改良員)
 岡村美文 (青年學園)
 轉入
 竹上清人 (喬水第一)
 宮坂秀臣 (三穂中學校)
 松尾 豊 (平岡中學校)
 河田富互 (河野中學校)

始めようとした時、突如終戦となりました。食糧が極度に乏しく、校庭は甘藷島と交りました。社會の混亂はこどもに反映して一時學校も虚脱状態となり、その收拾に苦心いたしました。
 二十二年新學制が實施され私は三ヶ年間の國民學校校長から中學校長に任命されました。

又最後の二ヶ年間は公民館校長を兼務させて頂き、社會教育や文化事業を擔當させて頂き、皆様の御協力を得ました。が、皆様の御迷惑をおかけした事を深くお詫びいたします。かくて六ヶ年間本村の御厄介になり、辛じてその職責をはたして頂いたのは全く村民各位の御厚情によるもので六ヶ年の竜丘生活は私に一つて一生涯の記念塔として、高

私の心奥に刻み込まれました。この地を去るにあたって實に感慨無量で御座います。本當に御世話になりました。ありがとうございます御座いました。本紙を通じて村民各位に厚く御禮申し上げます。
 (四月十五日)

轉入
 竹上清人 (喬水第一)
 宮坂秀臣 (三穂中學校)
 松尾 豊 (平岡中學校)
 河田富互 (河野中學校)

今後の農業経営

農業改良委員 岡村賢作

敗戦後のインフレが農村には比較的恵まれた形であり、米国の大きな援助に依り戦後國として当然受く可き筈の深刻な苦難も少なかつただけに先般の經濟九原則の實施と、ソチ政策に依りて我國自立經濟への急速度な進行は吾々農民には余りに大きな痛手となり急角で轉落して行く農村經濟に直面し、所謂安定恐慌に今後如何に對處して行くか此のまゝでは昔の土百性に沈んで行く運命にある吾々の農業經營をどう改善して行くか流行語の様に叫ばれている轉換問題をどうするか。村々挙げて大きく関心を持たなくてはならない問題だ。

戦後今迄の過少生産時代は農業生産面に於ても換金作物として特殊作物が時に大きな利益を上げた事もあつたが過剰生産時代に入らんとすると、國際情勢が大きく反映する今後そうした今迄の夢を追う事は恐らく不可能であり、かえつて徒らに新規を追う事が經營を危殆に陥れかねない。農業經營の在り方が適度適作にある事は今更変りはないと思ふ。作付統制も一應緩和され撤廢される今年こそ此の観点から自由な自己の經營を分析し、究明し、立地條件に叶つた經營を設計し計画して参り度い。廣汎な農地と進歩した機械化經營の世界農業にどう對處して行くか、少少經營の在り方が集約經營であり、高度化、多角化等あらゆる科學化に依らなくてはならない事は從來誰かが認めていた通りであるが此の際吾々は眞剣に反省し再考の必要があるのではないか。經營の轉換

農協組二十五年賦課金

賦課金額 二六、八〇〇円

内訳
 組合員割 二六、八〇〇円
 生産 一七、九〇〇円
 反別割 一、七〇〇円
 家畜割 七、二〇〇円
 桑園一反歩割 九、〇〇〇円
 水稲一反歩割 四、九〇〇円
 乳牛一反歩割 二、〇〇〇円
 大家畜一反歩割 二、〇〇〇円
 中家畜一反歩割 二、〇〇〇円
 小家畜一反歩割 二、〇〇〇円

私の營農の夢

林 一夫

諸類の代作に何を取入れるか？ 早速農家の一番検討しなければならぬ問題である。縣下で一番諸作りの発達した所、一番適地と云はれただけに村々挙げて最も關心を持たなければならぬ事實である。適地適作の重点主義で進むのが農業の鐵則と云はれる事を私は一番初めに念頭に置いて新しい技術と新しい知識を高度に取入れた農業經營を行いたいと思ふ。私は此の観点から園藝と畜産に主力を持つて行きたいと思ふ。畜産の生産を考へて見たい。畜産の生産の大半を是非積極的に飼料化したものである。大中小家畜の何れも個々の經營に適した種類を選んで取入、肥料、堆肥の増進により地力を増強して現在の反収を二倍三倍に上げて行く事も大して難事ではないと思ふ。二倍三倍に増産されては二分の一、三分の一の面積で現在の反収を確保する事が出来るわけである。その際諸類の飼料價值として蛋白質が不足するので大豆、落花生等の豆類を取入、その油粕を飼料に利用すれば其の欠陥を補うことが出来る。又一方甘藷などは十月に入つて掘取る物と思はれて来たが此の観点から極早堀(七月下-八月上)又貯蔵等良く賣れる諸類を取るべきと思ふ。其の後

地方ならば云ふ様な新しい物を見つけて行たいは私に思ふ。大市場相手の出荷組合ならば大根、ゴボウ、人参、白菜、甘藍等の古くからの一般蔬菜では絶対に現在までの名産ある大生産地では競争が出来ないからだ、早く出すが遅く出すが又氣候風土に最も適した蔬菜を導入すべきだ。此の点が特に大事だと思ふ。其の意味で下伊那ならば不可能だと思はれる様な農作物の生産に進まねばならぬ。春播甘藷、美濃早生大根の加工、晩生トマトの九月中-十月中旬出荷、加工トマト又氣候を活かした蔬菜類等々多くの研究の余地があるが同一品種で統一されて行けば面白くない。暖地農業と高冷地農業の中間にある準高冷地下伊那に於ける高等野菜の前途又洋々たるものがあると思ふ。又私は花卉園藝を經營の一部に積極的に導入したいと思ふ。信州の花云へば東京市場は勿論西遠くは九州方面まで第一に洋菊、アスターを連想する様な有名な切花の代表品種である何故の花が盛んになつたかは信州の氣候風土が此の種の生育に最も適当に居る事、其切花の消費地たる東京、名古屋、關西方面の中間に位し市場までの地理的利便が絶對的条件であると私は思ふ。其の外グラジオラス、カーネーション、百合等を第一に上る事が出来る。水仙の一二月出荷、グラジオラスの九月出荷又鐵砲百合の十二月出荷等又面白いと思ふ此處で注意すべきは市場消費地における最も嗜好する品種を導出して行かねば失敗する。消費者の嗜好は年々変化して行くから、花の採種方面でも北海道が長野縣が云はれる程の適地なのだ。涼しい夏と秋の長い長野縣の方が有利だと思ふ。ジュンヤ、サルビア、ベテニヤ、ポチユカラ、アスター等が良いと思ふ。球根に於てもグラジオラス、水仙、竹島百合、高砂百合、カーネーション、リヤトリス等も良い物が生産出来る氣候土質と思ふ。色々意味の無い事を長々書いて見たが要するに地力の増進を第一とし増産による一部又全体に新しい農業と高度の技術を導入し私はいかに進んで居る今の生活を乗り切つて行たいと思ふ。此の一部の意味でも村の人々の参考にもなれば私には嬉しい。以上

昭和二十四年度吾家の農業經營と營濟の狀況

經營の概要

水田	五反畝
桑園	一反九畝
普通畑	一反六畝
計	九反三畝
家族人員	三人
農業従事者	三人
非従事者	五人
子供	五人
病人	一人

収入の部

農業収入	七、九〇〇円
兼業	二、〇〇〇円
別途	一、〇〇〇円
合計	一〇、九〇〇円

支出の部

農業支出	三、七〇〇円
肥料代	一、〇〇〇円
勞賃	一、九〇〇円
農具	二、〇〇〇円
養蠶	二、〇〇〇円
飼料代	九〇〇円
租税公課	九八〇円
その他	二五〇円
合計	一五、八〇〇円

被服代 一七、〇〇〇円 19.0%

飲食代 二七、七〇〇円 28.5%

經營の概要

住家	七、九〇〇円
光熱費	一、八〇〇円
保健衛生費	五、三〇〇円
修養娛樂費	一、五〇〇円
交際費	二、四二〇円
冠婚葬祭費	九五〇円
諸掛	一、〇〇〇円
教育	四九二、二五
雑費	五、三〇〇円
兼業	四、四四〇円
別途	三、七二一、〇〇
合計	九、〇三三、二一

支出總計 一〇、五二三、二二

差引不足額 一、六二一、〇二

労働日数(耕種労働のみ)にて家事その他を除く)

經營主	三〇日五分
妻	九日一分
妹	二日四分
長男(去歲)	二日四分
合計	四日六分

★改善方針

畑作の改善が必要だ、養蚕重点に行くか、園藝に行くかを決定する事だ、勿論水田は現況維持か或は幾分減して畑作に持つて行つても良い。

自給肥料の増産に依り購入肥料の削減、家畜が何頭あるか解らないが大家畜一頭、中家畜一二頭は飼養出来る。

★經營の概況

此の農家の總耕地面積から云えば本村の中堅農家と云ふ事が出来るが、耕地の狀況は水田がその大部分を占めて居る事に普通畑が比較的少いので今迄の經營から見ると、經營收入は多くないので、經營の点に非常な無理なる所が見える。尚作物別(特に畑作)の收量が解らないから何も云えないが、もう少し畑作収入を多化する工夫が必要だと思われ。

★収入について

収入については水田中心の經營であるので農業収入は此の位であろうと思はれるが、家事収入の多くなつて居るが、内容が不明なので何とも申さないがこれ等の分は前記に記載した通り畑作の改善を圖り農業収入を増大すれば少なくとも十分は思はれる。

★支出について

支出の體的に見ると農業支出三八、二二、家事支出が六一、八〇の割合になる。此の内農業支出の内容は種苗肥料約二二%、農具、農具共に五十一%出て居るが之は再生産として活用出来るものであるから良いと思はれるが特に租税公課が一七%にして如何に農家が税の負擔が強いかがわかる。家事支出の面で見ると家族人員九名にては飲食、被服、住家、光熱、保健衛生等合計にて六三、二二%は非常に切りつめて居ると思はれるが修養娛樂費が一二%であり、雑費が五、九%もあるから修養費に廻す事が良いと思はれる。尚別途支出に一四%も出て居るが内容が不明であるが此の面を削減すれば不足金は出ないと思はれる。

原稿募集

一、毎月一回十五日(切り)休載を認む。
 二、感想、詩、短歌、評論、小説を認む。
 三、種類はなんでも可。

地方ならば云ふ様な新しい物を見つけて行たいは私に思ふ。大市場相手の出荷組合ならば大根、ゴボウ、人参、白菜、甘藍等の古くからの一般蔬菜では絶対に現在までの名産ある大生産地では競争が出来ないからだ、早く出すが遅く出すが又氣候風土に最も適した蔬菜を導入すべきだ。此の点が特に大事だと思ふ。其の意味で下伊那ならば不可能だと思はれる様な農作物の生産に進まねばならぬ。春播甘藷、美濃早生大根の加工、晩生トマトの九月中-十月中旬出荷、加工トマト又氣候を活かした蔬菜類等々多くの研究の余地があるが同一品種で統一されて行けば面白くない。暖地農業と高冷地農業の中間にある準高冷地下伊那に於ける高等野菜の前途又洋々たるものがあると思ふ。又私は花卉園藝を經營の一部に積極的に導入したいと思ふ。信州の花云へば東京市場は勿論西遠くは九州方面まで第一に洋菊、アスターを連想する様な有名な切花の代表品種である何故の花が盛んになつたかは信州の氣候風土が此の種の生育に最も適当に居る事、其切花の消費地たる東京、名古屋、關西方面の中間に位し市場までの地理的利便が絶對的条件であると私は思ふ。其の外グラジオラス、カーネーション、百合等を第一に上る事が出来る。水仙の一二月出荷、グラジオラスの九月出荷又鐵砲百合の十二月出荷等又面白いと思ふ此處で注意すべきは市場消費地における最も嗜好する品種を導出して行かねば失敗する。消費者の嗜好は年々変化して行くから、花の採種方面でも北海道が長野縣が云はれる程の適地なのだ。涼しい夏と秋の長い長野縣の方が有利だと思ふ。ジュンヤ、サルビア、ベテニヤ、ポチユカラ、アスター等が良いと思ふ。球根に於てもグラジオラス、水仙、竹島百合、高砂百合、カーネーション、リヤトリス等も良い物が生産出来る氣候土質と思ふ。色々意味の無い事を長々書いて見たが要するに地力の増進を第一とし増産による一部又全体に新しい農業と高度の技術を導入し私はいかに進んで居る今の生活を乗り切つて行たいと思ふ。此の一部の意味でも村の人々の参考にもなれば私には嬉しい。以上

今後どうするか？ 農業経営改善方針

(農事指導部)

最近の世界情勢は食糧の生産過剰を報じて居る。

農政関係の権威者達は農業の轉換問題を叫んで居る。經濟九原則の實施、ドツヂ施策によつて「デフレ」傾向に落ち込んで行く農村經濟の破綻比較的農村には恵まれていた「インフレ」であつた丈に激しい反動に直面しつゝある現在、殊に日本再建の爲には相當の犠牲を覚悟しなければならぬ。今後の農業經營こそ村を挙げて關心を持つて参りたい。

農業は投機的な企業では絶對あり得ない。計画も方針もない様な經營では絶對に今後に處して行く事は出来ない。尠少農地に依存する本村の農業經營こそ耕種農業を中心として集約的に生産向上を圖り土地の高度化、多角的な計画經營のあり方を持ちたい。こゝうした見地から食糧の自給確保に併せて換金の養蠶、養畜、園藝、その他換金作物を織り込んだ經營とし、常に集約化し、經濟的に弾力性ある形態を確立する事ではなからうか。

(一)適地適作の重点主義
經營の基礎確立については右に述べた通りだが徒らに換金作物の導入、其の他自己立地條件を顧みず行ふ事は無謀であり危険な事である。農業の鐵則である適地適作の觀念を離れては經營の合理化も生産コストの問題もない。充分土性、水利氣象等研究し自己の耕地に適合したものを選び込んで行く事なご大切である。

(二)作物轉換に處して(一)試案
薯類の統制緩和に依る(近く撤廢も見込まれる)作物轉換が叫ばれて居るが耕地の有効利用の見地から試案を記して見る。
①甘藷耕種改善を行ひ、單位生産量を上上げる事に依つて未だ相當の増収の余地があると思ふ。現在甘藷畑へ何割かを他作物に轉換し残りの面積から現在の収量を確保したい。栽培に當つても諸の利用面によつて(食用加工用、飼料用等)品種の選定改良等を圖ること。
②桑園 養蠶が従来本村經濟の中心をなして居た通り立地的に適地である。自己經營形態を考慮し増反する事

も考へられる。但し徒らな面積擴張を考へる一歩先に戰時戦後の悪條件によつて余蘊なくされた荒廢桑園を改植、増肥等によつて復興を圖り反當収量の増加を圖るべきである。
③大豆、落花生 現在の食糧事情より見て薯類の轉換には大豆、落花生がその中心となるべきと思ふが、之は適地に於て増産栽培技術の改善によつて反當収量の増収を圖るべきが大切と思ふ。
④園藝果樹
果樹園を設置する場合は先づ土質、氣象、水利等を充分に考慮して種類を選択しその地に適した樹木を植付る事が大切で、尙特に園地の天地返し自給肥料、山野草の増産は何れの果樹に於ても共通した必要事項である。特に植付當時の植穴に施肥状態が將來の結果、樹令に大きな影響があるから充分注意する事が大切である。
イ、梨 品種 二十世紀中心
ロ、苹果 紅玉、旭祝中心
ハ、柿 甘柿、富有、次郎
ニ、桃 市田柿、平核無
ヒ、桃 白桃、大久保
ヘ、桃 白桃、大久保
ヘ、桃 白桃、大久保
ヘ、桃 白桃、大久保
ヘ、桃 白桃、大久保

(三)家畜の導入と飼料確保
今迄に種々耕種栽培について述べたが其の經營の中に家畜を如何に導入するか、貸附金最高限度有擔保貳万円
無擔保 六千円
團體 六万円と決定
貸附金金利を一寸引上げて
無擔保貸附を三錢厘に
有擔保貸附を三錢厘にした
借入金最高限度は二〇〇万円とした。
役員補欠選考は
理事二名 下平直人 山田三郎
監事一名 林 順三
閉会は午後四時半

問題である。先づ自己の面積、導入作物等によつて畜種頭數等が決定される。徒らに打算的に導入數を増加するのでなく經營規模と飼料の確保を充分出来る見通しによつて導入し一面年間農業労働力の均等を圖る工夫が大切である。
四)農業經營の改善と自給自足
如何に食糧増産を圖り換金作物導入を數多くし、収入面の増加を圖つても、支出面に於て増大されれば改善は出来ない。今迄の農業經營に出てる支出の内六五%以上が農業以外支出(主として家計費その他農業外支出)であり再生産に必要な所謂農業支出は三〇%前後である。

更に農業外支出を分けるに食糧、被服等が大部分を占め今盛に謂はれて居る文化施設費等は實に微々たるものである。従つて此の農業外支出を如何にして抑制するかは大きな問題であり、之を最少限度に切り詰める事によつて經營は一段と改善されてくるのである。
農閑期を利用して適當な副業或は農産加工の導入によつて特に零細經營の年間努力の均等によつて収入の増加を圖るを必要とする。
五)換金作物
換金作物の種類、栽培法反收價格、努力等については冬期間中に研究会、印刷物により各農家に通知する。

農協組總會出席品をもちらうミサツサミ歸る人が多くて會議半ばに約四、五十名。内理事、監事半數残るのみ「無關心か」「絶對信任か」「忙しか」「萬事異議なしか」
★ 村議會—二五年度予算審議に三日間をかけて慎重審議—地方税未決定の爲暫定予算だが、村民の負擔重大し、村議連大いにねばる ねばる。
★ 新旧校長送迎會、新任先生歡迎會(四月二十二日)記念館に開く。
煎餅ポリ〜の外にPTA公民館委員、出席者等から教育に對する希望意見等発表されて約二時間。
お目見得だんまりでなかつた事は良い。
★ 鈴岡城跡の公園に茶店が出る。
戦争后何年振りかにつ、じを見ながらお茶がのめる。國歌れて山河あり 乎。
★ 念通寺釣鐘四月二十三日に新しく鳴り初む。

村内の道路の各要處に「危険箱」設置が目につく。青年團の村の美化運動の一着手とし、その地味な努力を賞めた。
★ 道路を修理し、水路を直し住み良い村は住む人の心がけ次第で改めて申したい。

組合の通常總會 無事終る

農協組第二年度決算總會は四月二十七日午後一時より全組合倉庫で開催された。出席者は四十一名(内委任状六〇名)組合長開會を宣し議長に就任、議事録署名者、中平恒三郎、小林三郎兩氏を指名、縣連合會長の祝辭を郡支部係員代讀して議事に入つ

たが、一号議案以下十一号議案に至る迄すらすら可決された。事業運轉の希望意見として購買品の評價は適正か、購買職員はもつと熱心に處理を考へよ、販賣品に力を入れてよくしたい。等の意見が發見された。

決議の主要なるものは
貸附金最高限度有擔保貳万円
無擔保 六千円
團體 六万円と決定
貸附金金利を一寸引上げて
無擔保貸附を三錢厘に
有擔保貸附を三錢厘にした
借入金最高限度は二〇〇万円とした。
役員補欠選考は
理事二名 下平直人 山田三郎
監事一名 林 順三
閉会は午後四時半

問題である。先づ自己の面積、導入作物等によつて畜種頭數等が決定される。徒らに打算的に導入數を増加するのでなく經營規模と飼料の確保を充分出来る見通しによつて導入し一面年間農業労働力の均等を圖る工夫が大切である。
農閑期を利用して適當な副業或は農産加工の導入によつて特に零細經營の年間努力の均等によつて収入の増加を圖るを必要とする。
五)換金作物
換金作物の種類、栽培法反收價格、努力等については冬期間中に研究会、印刷物により各農家に通知する。

更に農業外支出を分けるに食糧、被服等が大部分を占め今盛に謂はれて居る文化施設費等は實に微々たるものである。従つて此の農業外支出を如何にして抑制するかは大きな問題であり、之を最少限度に切り詰める事によつて經營は一段と改善されてくるのである。
農閑期を利用して適當な副業或は農産加工の導入によつて特に零細經營の年間努力の均等によつて収入の増加を圖るを必要とする。
五)換金作物
換金作物の種類、栽培法反收價格、努力等については冬期間中に研究会、印刷物により各農家に通知する。

農協組總會出席品をもちらうミサツサミ歸る人が多くて會議半ばに約四、五十名。内理事、監事半數残るのみ「無關心か」「絶對信任か」「忙しか」「萬事異議なしか」
★ 村議會—二五年度予算審議に三日間をかけて慎重審議—地方税未決定の爲暫定予算だが、村民の負擔重大し、村議連大いにねばる ねばる。
★ 新旧校長送迎會、新任先生歡迎會(四月二十二日)記念館に開く。
煎餅ポリ〜の外にPTA公民館委員、出席者等から教育に對する希望意見等発表されて約二時間。
お目見得だんまりでなかつた事は良い。
★ 鈴岡城跡の公園に茶店が出る。
戦争后何年振りかにつ、じを見ながらお茶がのめる。國歌れて山河あり 乎。
★ 念通寺釣鐘四月二十三日に新しく鳴り初む。

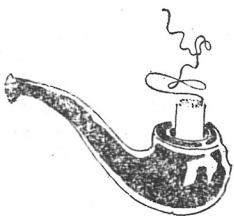
村内の道路の各要處に「危険箱」設置が目につく。青年團の村の美化運動の一着手とし、その地味な努力を賞めた。
★ 道路を修理し、水路を直し住み良い村は住む人の心がけ次第で改めて申したい。

中部ブロック保険並に保険給付費比較表

村名	保険料總額 一世帯当り	全上内譯		保険給付費		助産費
		基本保険料	人頭割一人当	月平均點數	一人當り	
竜丘	2132	1492	120圓	28.800	計 707	300
松尾	1966	1809	30圓	83.000	582	800
鼎	1938	1638	60圓	45.000	660	300
伊賀良	1743	1189	96圓	32.000	492	
川路	8025	1617	80圓	13.343	516	500
三穗	1792	1421	60圓	9.500	432	300
平均	1932	1527	74圓	26.857	565	316

私たちの言葉

時間を尊く
使い度い (一農夫)



○麦の一種出さ云ふ……眠い時よくいゝの合が區の公民館や學校や役場にある。午後八時と言ふので出て行く未だ二三人しか居ない、待つて居る。大休開會が午後九時と来て、そして協議が終るのが十一時ごろになる。そう云ふ私の疲れでか無精に眠くなる、自分一人かと思ふ隣のK君もこつくり〜やる。

そうするに司會者がもう一度相談の内容を繰返して又居眠の機會を作つてしまふ。この團體も時間を正しく始めてほしい。私は農村の生活の中につくづく會議の時間がづるいで嫌になる。そう云ふ私もづるいで早速な簡単な事から實行したい。

念通寺釣鐘四月二十三日に新しく鳴り初む。

村内の道路の各要處に「危険箱」設置が目につく。青年團の村の美化運動の一着手とし、その地味な努力を賞めた。
★ 道路を修理し、水路を直し住み良い村は住む人の心がけ次第で改めて申したい。

竜丘農協組人事異動

轉任
畜産指導員 川上素行 (松尾村へ)
食糧検査員 今村澄雄 (下久堅村へ)

退職
購買係 中島建夫
新任 下平ひで子

畜産指導員 加藤千尋 (伊賀良)
金融係 久保田よねほ (駄科)

豆ニユース

(四月中の村内)

公民館運営協議会

委員長選任する

四月七日午後三時運営協議会
は委員十六名出席、投票に依
り木下委員長に任じ、後任
として小學校長長泉愛助氏を選
任、副委員長は関島助役留任
と決定した。

満島工事に

竜丘班張り切る

二ヶ年の日時と、二十九億を
投資して再開された発電所工
事に本村は村全体の労働者を
募集して送付。平賀政雄、井
口美壽、市瀬扶桑の三氏班長
となり、大いに張り切つて工
場責任者の信用を高めて居る

青年學園始まる

四月十五日午後四時、本村記
事館に於て青年學園入校式挙
行。
生徒男子十六名、女子二四名
計四十名
専任教員に岡村美文、中田今
朝子兩氏、一週に四日間宛

お嫁さんを

紹介するの會盛況

四月十六日鈴岡公園に於て歐
科婦人會は区内の新嫁花嫁さ
ん、七十才以上の老年者を
招待して敬老會兼花嫁さん紹
介の會を開いた。
うら若いお嫁さん多数がお姑
さんに伴つて出席、一寸恥ず
かしそう。そのうちが人生の
花と誰が云ふ。

館委員總會開かる

四月十六日午後七時全館委員
出席、事業部委員の協議に依
り部長、副部長を選任した。
決定したのは左記

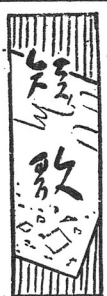
本年の藝能部

分擔部門で進む

四月二十日部員會開催、事業
目標を次の通り分擔した。
(一)映画部(公民館映画を扱ふ)
(二)演劇部(藝能まつり文化祭)
(三)リクレーション部
(四)音楽研究會(コーラス部)

呼び名改名

「ナトコ」映畫の
ナトコで親しまれた映画本月
から公民館映画改名、内容
は一層フィルムを厳選して各
村へ出張何卒よろしく。



小委員會開かる

四月二十一日午後一時より小
學校直室に於て同校敷地問
題につき、村會代表委員岡村
北澤、関島助役、今村書記、

下伊那郡体育協會

本村部員決る
野球部員 岡島耕平
庭球部員 林 一雄
球技部員 前澤五雄
陸上競技 河井正直
リクレーション 尾關三郎

お別れの日

四月十八日午後四時、時又晴
は一杯の見送り人で埋められ
た。
勤務六ヶ年の木下右治校長が
上郷へ赴任を見送りの爲、村
會議員、先生、生徒、PTA

体育部事業

計畫決る
四月 春季野球大会
八月 夏季野球、排球大会
十月 全村民運動會
十一月 秋季野球大会
二月 卓球、籠球大会
七月 ダンス講習會

民衆座の人形劇

四月二十一日夜公民館藝能部
主催の人形劇は出席約五〇〇
名「魔法の森」他二幕熱演に
好評であつた。

市民の集ひ

開かる

四月二十三日午後三時より飯
田市役所階上に於て軍報導部
長ウキリヤムHギルドナリー氏
ワルターリンパーク氏が公民
館下関係者並に一般市民、
婦人會、青年團関係者に民主
主義について語り。本村から
北澤館長、下平書記が出席し
た。

驚く程集つた

釣鐘の寄附金
戦争で供出した鐘の後任を京
都から購入した念通寺では予
算十三万四角と見込んで寄附
募集をした。ロマンス社長
の金二万円、遠山氏の一万円
等予想外の寄附が集り總計拾
九萬數千円。関係者コレハコ
レハ。お祝披露は四月二十三
日。

公民館中部

鼎村役場に開く
四月二十五日午後一時地區會
議開催。各村館関係者出席本
年度の公民館運営につき協議
した。

保健婦さん辞める

本村國保に長く在勤して厚生
醫療に奔走した。熊谷保健婦
は四月限り退任、後任は目下
交渉中にて未定。

下伊那公民館運営

協議會役員組織決定
四月二十七日午前九時半郡協
議會では評議員會を教育會館
に開催し、次の役員を選任し

詩 一一題

竜丘中學三年 鹽澤 義 男

新しい教室 新しい腰掛け
新しい氣持 三年生の喜び
皆んな喜々としてゐる
新しい希望に満ちた出発
先生の御言葉を聞いて身心がひきしまる
「しつかりやろう」
櫻の花が蕾を大きくして色づいた
春の光がつよい
新しい希望の出發は
こうして踏出される

山峽の畫さがり

山峽の靜かな畫さがり
遠くの風の音を聞いて
春の陽はうららかな
麦の青さが波打ち
遠近の沼田から聞える蛙の音が
土地にしつくり合う
食事がすんだらしく
三四人の子供が田にせ、ついで
のさかだ
目につる農家から白煙が横になびいた

公民館指導者

四月二七、二八日飯田市
教育會館に於て、郡下各村の
婦人會、青年團、館関係者を
集めて講習を、村から正副館
長、書記の外、代田きそ、
中田今朝子、松原篤人氏等出
席。

四月の小中學校行事

主なるもの
○一日 小學校入學式
當日特別歯牙検査を
行い尚一年生のPTA
Aを行う。
○三日 中學校入學式及始
業式
○十日 木下前中學校長上
郷小學校長として赴
任す。
○二十三日 竹上新中學校長を
迎える。
○十七日 PTA中學校部を
開催し、新委員を選
ぶ。
○二十一日 PTA、公民館
村共同主催で新旧職
員の歡送迎會を盛大
に行う。
○二十二日 學校林へ松の植
林をする。雨上りの

植林日和であつた。

○二十四日 PTA小學校部
を行い、新委員を選
ぶ。
○二十六日 小中校各方面へ
春季遠足をなす。
○二十九日 天皇誕生を祝い
中學校校友會全員大
會をなし、各部の事
業計畫、予算の審議
決定を見る。

★本誌は農
業經營改
善の特輯
とした
苗代準備
の原稿が
折角手許
にあり乍ら、發行が遅れて掲
載をやめた。諒承を得たい。
★下伊那郡下各町村發行の館報
の新聞のうち、隣村龍江村
の新聞が一番編輯技術優秀と
信毎に賞められる。同感であ
るが、羨しくあり、負けない
様にしたいと思ふ。折角村民
各位の應援を。
★新聞記者一村の新聞係りは
「足まめ」筆まめ「口まめ」で
飛び廻らなければならぬとい
ふ。三つともまめでなくて
まことに申譯ない。
★ラヂオではないが私達の言葉
を募る。村民の爲の村民の聲
に依る村の政治の建設の爲に
私達の言葉、眞實の言葉で
あり、遠慮のない要望であり
たい。
★来月號から小、中學校生徒の
作品若干掲載したい。子供
の純眞な直観は人と自然を汚
れなく観て居て、大人は恥か
しい。
★新緑の季節、表が伸び蛙のこ
ーラスが田圃に鳴る。猫がネ
ズミをとるごとく、人は働い
て生産をあげねばならぬ。
働く者榮あれ。
★川路の村報は「明るい村」和
田村は「むらびと」根羽村は

「公民」山本村は「自治の光」

龍江村は「龍江の新聞」其の
他さまざま。さて村の衆わし
の村は何と呼んたら良いでし
ようか。御名案があつたら編
輯子迄教へて下さい。
★自己満足と、うぬぬれば伸び
ゆかんとする者にとつて大の
禁もつと心得え與論を聞く程
に、村の新聞は、固からず、
やわらか過ぎず、右も左もか
たよらず。さて「むづかし
い」が、そうしなくてはおさま
りません。ーと
★ペン偽らずと、云いたいがも
のを云うと夏でも唇が寒い。
これは占領下の日本人の立場
せいぜいプレスコード違反に
ならぬ注意をしておきます。
★月一回、ニュースとは申せな
いし、雑誌ではない事たしか
だが。村の歴史を著し人層世
に若しあらば一つの参考にな
るかも知れませんがらどなた
か保存して下さい。
★村の新聞に。短歌、俳句が
たくさん出て居る。朝に畑を
耕し、夕べに一句詠じて人生
をたのしむ又よからずや。
★名句でなくとも作品を御出し
下さい。文化村の名がはさま
るぞ。
★行方不明になつたもの、一つ
に前年の「村報」がありませ
どなたか知つて居る人は手を舉
げて下さい。
★福島縣の社会教育課の農業期
における農村青年男女の調査
に依ると。農作業の時間が男
十二時間二十六分。女十一時
間三十六分。家事にたずさわ
る時間が男一時間で、女四時
間三十分。休日時間は男二時
間三十分、女一時四十分三分
女五時間四十分、結局農村婦
女は一日二十四時間働いて居る。
婦、方に館報を讀んでいた
く時間が無い事にならない様
に御ねがひします。
★母の日はしつかり休んでもら
いませう。
★五月十五日午後三時から役場
で館報の編輯について研究會
を開きます。どなたでも出て
情報部員に意見を申し下さ
い。「R」生

編輯後記

本誌は農
業經營改
善の特輯
とした
苗代準備
の原稿が
折角手許
にあり乍ら、發行が遅れて掲
載をやめた。諒承を得たい。
★下伊那郡下各町村發行の館報
の新聞のうち、隣村龍江村
の新聞が一番編輯技術優秀と
信毎に賞められる。同感であ
るが、羨しくあり、負けない
様にしたいと思ふ。折角村民
各位の應援を。
★新聞記者一村の新聞係りは
「足まめ」筆まめ「口まめ」で
飛び廻らなければならぬとい
ふ。三つともまめでなくて
まことに申譯ない。
★ラヂオではないが私達の言葉
を募る。村民の爲の村民の聲
に依る村の政治の建設の爲に
私達の言葉、眞實の言葉で
あり、遠慮のない要望であり
たい。
★来月號から小、中學校生徒の
作品若干掲載したい。子供
の純眞な直観は人と自然を汚
れなく観て居て、大人は恥か
しい。
★新緑の季節、表が伸び蛙のこ
ーラスが田圃に鳴る。猫がネ
ズミをとるごとく、人は働い
て生産をあげねばならぬ。
働く者榮あれ。
★川路の村報は「明るい村」和
田村は「むらびと」根羽村は